

第2520地区

 ひろがれ
 まわれ
 一つ心に
 2017~2018

MORIOKA
 ROTARY CLUB WEEKLY

第37回例会(5月18日)
 平成30年5月25日発行

クラブ事務所 岩手県盛岡市菜園1丁目10 会 長 飯塚 肇
 川徳デパート内 幹 事 星 克彦
 例 会 場 同上 TEL 019(651)1111(代) 会 報 伴 亨
 例 会 日 毎週金曜日12時30分~ クラブ事務局 TEL 019(653)5682
 http://www.morioka-rc.jp/ FAX 019(653)5622

RI会長テーマ ROTARY: MAKING A DIFFERENCE. 「ロータリー: 変化をもたらす」… イアン H.S. ライスリー
 盛岡RC会長テーマ — もう一度、奉仕 — … 飯塚 肇

会員卓話



『戊辰 150 年・維新 150 年』

櫻山神社 宮司
 坂本 広行 君

今年には明治維新より150年ということで、大河ドラマでは「西郷どん」が放送され、新聞や書籍でも維新が多く取り上げられています。しかし東北地方においては様々な意見があるとは思いますが、戊辰150年ではないかと思っています。特に、会津藩・米沢藩・仙台藩・秋田藩・長岡藩・庄内藩・山形藩・盛岡藩は戊辰ではないかと思えます。会津藩はご存じの通り徹底的に解体され、現在の青森県大間付近と六ヶ所村付近に遷されますが、米をはじめ何も作物が取れないところで悲惨を極めたそうです。長岡藩は石垣が跡かたもなく破壊され、現在その場所には駅が建てられ、発掘もできず、城があったということを想像することもできないといわれています。

盛岡藩はそこまでではありませんが、やはり維新前後は困窮を極めたと考えます。維新150年の節目の年でもありますので、戊辰前後の盛岡藩はどのようなであったか少し調べてみました。

安政4年(1857)15代藩主(南部家40代)利剛公は水戸斉昭の養女明子(松姫)と婚姻します。その年、大島高任は釜石大橋の洋式高炉を完成させます。下田条約が調印されます。

安政5年(1858)4月に井伊直弼が大老に就任し日米修好通商条約に調印します。

安政6年(1859)6月から10月には安政の大獄で橋本佐内、吉田松陰らが処刑されます。

万延元年(1860)3月、桜田門外の変で井伊直弼が暗殺されます。

文久元年(1861)12月、皇女和宮が将軍家茂に降嫁され、公武合体が実現されます。また12月に藩主利剛公は少将に任ぜられます。

その後、文久2年(1862)より慶応3年(1867)まで、国内は蛤御門の変、長州征伐、薩長連合、倒幕の勅許、大政奉還、王政復古、そして慶応4年「9月8日より明治元年」(1868)鳥羽伏見の戦いいわゆる戊辰戦争など騒然を極めますが、盛岡藩は幕府側として京都警衛を務めています。

盛岡藩の運命の年は慶応4年です。その時の家

老は楡山佐渡で藩主利剛とは従兄弟にあたります。利剛公は藩政を楡山に託していました。その楡山佐渡は、京都駐在以来、薩長方の態度に憤然たるものがあつたといわれています。盛岡藩内では勤王派と佐幕奥羽同盟派と分かれその対応に苦慮した藩主は、急遽佐渡を帰国させその対応を図ろうとしましたが、楡山はすでに反官軍派であり、奥羽同盟を指示する考えであつたといわれています。そして在京藩士の目時隆之進(脱藩し長州藩邸に)・中島源蔵(大阪の宿で自刃・護国神社の御祭神)らの意見を聞き入れず、海路で仙台に上陸し、同盟を離脱した秋田・弘前藩への対応を仙台藩家老と協議しています。その後、慶応4年7月16日盛岡に入り、藩主に謁見し、会議を開き「奥羽諸藩の盟約に従うべき。同盟離脱の秋田藩を討伐すべき」と決議され、7月27日、楡山佐渡は当時の盛岡藩領である鹿角に向けて盛岡を発進しました。しかし、もともと東北の各藩は朝廷に対する敵意はなく、次々に同盟を離れ、早々と降伏し、7月22日に激しい戦闘の後に会津藩が降伏し、盛岡藩が取り残されました。

久保田藩(佐竹藩・秋田藩)はいち早く奥羽同盟を抜けましたので、楡山佐渡率いる盛岡藩と戦乱が起こり、俗にいわれる秋田戦争がはじまります。当初は優勢でした。仙台藩や庄内藩の脱藩士族の援軍を得て、久保田城まで追い詰めましたが、そのとき、奥羽鎮撫総督が久保田城におりましたので、官軍(維新軍・政府軍)は本気になり各藩より援軍を送り、救出にあたりました。アームストロング砲が撃ち込まれ、その威力に圧倒され戦意が喪失したとも言われ、9月4日には降伏状態であつたといわれています。戊辰の戦で亡くなった方は120余人といわれています。その碑は盛岡の聖寿寺にあります(50年前櫻山神社境内にも建立されました。)また、その秋田との戦を描いた資料が残されています。盛岡藩士であつた田中堯史次期ガバナーの御先祖がその戦闘の様子や場所を詳細に伝えています。貴重な資料となつてい

ます。正式には、10月5日を期限に盛岡城を開城して降伏するよう命ぜられ、要求通りに受け入れました。南部信直公が盛岡城築城してから272年目のことでした。盛岡藩の記録であります「雑書」には開城までのことが淡々と記されていますので、余計に無念さが感じられました。

余談ではありますが、昭和51年のNHK朝の連続ドラマ「雲のじゅうたん」は秋田県出身の初の女性飛行士のドラマで浅茅陽子や中条静夫が出演しておりました。その主人公が岩手の男性との結婚が決まった時に、互いの父親同士が戊辰の戦の話をして険悪な雰囲気となるシーンがありました。今では絶対に放映にはならないと思いますが…先祖がその戦で何人倒したかという両家の自慢話です。

明治元年12月に処罰令が下され、「藩主利剛公の隠居と領地没収。後継者には国替えのうえ13万石を与える。また反逆の首謀者を取り調べ差し出す」ということでした。これにより嫡子である利恭が16代藩主（南部家41代）となり、首謀者として家老の楡山佐渡が差し出されました。楡山はすでに逮捕されて東京の金地院（東京タワーの横・南部家と八戸南部家の江戸の菩提所）に監禁され死罪が言い渡されましたが、利恭が「家臣にその罪を知らせたいので盛岡で処刑して欲しい」と嘆願し、明治2年6月23日に、楡山佐渡は盛岡の報恩寺で切腹斬首となりました。享年39歳でした。初めから終わりまでの主導者ではありませんが、ひとりで戊辰の戦の責任をとったことになり、本家筋の南部家を救いました。今年は150年遠忌です。原敬が戊辰殉難者50年祭を行って

より100年目となります。

その後、白石藩13万石に転封となりますが、盛岡の領民から旧領地への復帰運動がおこり、その運動が実り、明治政府より復帰の許可があり、明治2年8月13日に白石に入城し、9月20日には盛岡へ戻りました。一ヶ月の赴任でした。白石に赴任した家臣は86家族といわれ、重臣や側近の士族が多かったといわれていますが、移住費用を工面して白石に到着、そしてまたすぐに盛岡に復帰となり、金銭面で苦勞したといわれています。なかには帰る費用が無く留まった士族もいたといわれていて、それが誰なのか地元の方々に聞いてもわからないとのことでした。しかし、これだけ一揆が多かった盛岡藩で、殿様の復帰運動がおこることが不思議ではあります。諸説ありますが、農民より提出された文書内容がどれも同じであったので首謀者がいたといわれております。それは藩政時代最大といわれている三閉伊一揆も同じであります。その後も復帰金として70万両の献金という無理難題を課せられるなど多難な明治初期を迎えることとなります。

終わりに、もりおか歴史文化館では、企画展「盛岡南部家の生き方」が開催されています。多くの資料展示の中で気になる文書展示がありました。「雑記」というその年の様々な出来事が記されている文書です。慶応雑記に新撰組に関する記事と手紙があり、新撰組目付吉村貫一郎とあります。嘉村権太郎とも記され、盛岡藩士です。「壬生義士伝」の内容はともかく、浅田次郎はすごいと感じました。情報収集力と発想力とに。

例会報告

第37回例会
平成30年5月18日(金)

12時30分 開会点鐘

- ・司会 飯塚 肇会長
- ・ロータリーソング（それでこそロータリー）
- ・ゲスト タンバンペンストン シラナットさん(米山記念奨学生)

- ・会長報告 飯塚 肇会長
- ・入会祝 豊岡正幸君
- ・誕生祝 吉田幸一君
- ・結婚祝 長谷川 桂・三田光男・星 克彦君
- ・幹事報告 星 克彦幹事

【他クラブ例会変更のお知らせ】

- 盛岡北R.C.= 5月23日(水)は、新緑を愛でる会開催のため時間変更

- 盛岡東R.C.= 5月21日(月)は、通常夜例会18:30~すべいん倶楽部会場変更

【ニコニコBOX】

- ◆熊谷祐三君…新入会員紹介した日に早退してしまい、申し訳ございません。改めて新入会員の東京海上日動火災保険の中村会員をよろしくお願い致します。

出席報告

会員数/77名

出席数/47名

出席率/62.67%

前々回/休会



プログラムのお知らせ

- ・5月25日(金) 会員卓話 齊藤和好会員「近来医学の進歩に寄与した人々」
- ・6月1日(金) 青少年育成団体 支援金贈呈式
山家理恵様(インクルいわて理事長)
- 8日(金) 会員卓話 飯塚 肇会長

●本号編集担当 / 岡村 弥